

群中肥料第〇〇号  
令和4年〇月〇日

群馬県担い手育成総合支援協議会  
会長 高橋 英二 様

所在地 前橋市大手町一丁目1番1号  
取組実施者名 株式会社群馬肥料  
代表者氏名 代表取締役 群馬 太郎

令和4年度肥料価格高騰対策事業取組計画書の~~-(変更)-~~承認申請書

令和4年度において、肥料価格高騰対策の実施にあたり、対策事業取組計画書を作成~~-(変更)-~~したので、肥料価格高騰対策事業実施要領（令和3年12月20日付け3農産第2156号農林水産省農産局長通知）第9の4の（1）~~-(第9の4の(3))-~~に基づき、別添のとおり提出する。

（注）参考様式第1-2号（参加農業者名簿）、参考様式第2号（化学肥料低減計画書）、所要額の算出根拠となる証拠書類を添付すること。

肥料価格高騰対策事業取組計画書 ~~(取組実績報告書)~~

秋用肥料分	春用肥料分	年間
○		

(注) 該当するものに○を付けること

## 第1 取組実施者の概要

取組実施者名	株式会社群馬肥料	
代表者の役職・氏名	代表取締役 群馬 太郎	
取組実施者の住所	〒371-8570 前橋市大手町一丁目1番1号	
事業担当者の連絡先	所属・役職・氏名	営業部 課長 坂東 太郎
	電話番号	027-226-〇〇〇〇
	E-mail	bandou-t@gunmahiryo.jp

## 第2 参加農業者の概要

参考様式第1-2号のとおり。

参加農業者数 (件)
5

参加農業者名簿 (参考様式第1-2号) の総合計と一致。

## 第3 所要額

152,560円 (秋用肥料分/春用肥料分/年間)

(注) 括弧内はいずれかを選択すること

参加農業者への確認が必要です。

## 第4 誓約・同意事項

取組実施者 (参加農業者を含む) は、支援金申請に当たって、次の事項を誓約・同意するものとする。

以下の内容について誓約・同意する	チェック欄	○
1 本事業に係る報告や立入調査について、地方農政局長等から求められた場合に応じます。		
2 取組を実施したことが確認できる書類等の証拠書類について、支援金の交付を受けた年度の翌年度から5年間保管し、事業実施主体又は地方農政局長等から求められた場合は提出します。		
3 以下の場合には、支援金を返還すること、又は交付されないことに異存ありません。 ア 対策事業取組計画書及びその他の提出書類において、虚偽の内容を申請したことが判明した場合 イ 正当な理由がなく、対策事業取組計画書に記載した取組を実施していないことが判明した場合		
(注) 誓約・同意事項の内容を確認の上、チェック欄に○を記載すること。		

参考様式第1-2号

肥料価格高騰対策事業 参加農業者名簿

No.	参加農業者 氏名 又は 法人・組織名	支援予定額 (円)				総合計
		秋用肥料 (令和4年6月～令和4年10月購入分)		春用肥料 (令和4年11月～令和5年5月購入分)		
		当年の肥料費	支援予定額	当年の肥料費	支援予定額	
1	赤城 一郎	100,000	10,170			10,170
2	榛名 二郎	200,000	20,341			20,341
3	妙義 三郎	300,000	30,512			30,512
4	武尊 姫子	400,000	40,683			40,683
5	荒船 天子	500,000	50,854			50,854
集計	—	1,500,000	152,560			152,560

「秋肥分」の記載例です。  
 ・支援予定額は、(注)2の算出  
 方法で算出された金額を記載し  
 てください(高騰率は、後日、  
 国から示されます)。  
 ・必ず検算してください。

集計3カ所を必ず検算してください。

(注)

- 「肥料価格高騰対策事業取組計画書」の添付資料として使用する場合は、当年の肥料費は、秋用肥料については令和4年6月～10月、春用肥料については令和4年11月～令和5年5月に発注したことを証明する書類(注文票等)と、参加農業者が肥料費を支払ったことを証明する書類(領収書等)または支払い義務が生じていることを示す書類(請求書等)を提出すること。  
 なお、肥料の種類、数量、購入費が記載されているものに限る。
- 支援予定額の算出方法は下記のとおりとする。  

$$\text{支援予定額} = \{ (\text{当年の肥料費}) - (\text{当年の肥料費}) \div (\text{高騰率}) \div 0.9 \} \times 0.7$$

ただし、当年における肥料コスト上昇に対して、都道府県及び市町村から支援金(以下「地方自治体支援金」という。)が交付されている場合にあっては、この交付額から以下の算定式により算出される調整額を控除したものを支援予定額とする。  
 なお、調整額が負の数の場合は、調整額は0とする。また支援金が交付されている旨、備考欄に記載する。  

$$(\text{調整額}) = (\text{地方自治体支援金}) - \{ (\text{当年の肥料費} - \text{前年の肥料費}) \times 0.3 \}$$
- 「肥料価格高騰対策事業取組実績報告書」の添付資料として使用する場合は、「支援予定額」を「支援額」とする。
- 適宜、行を追加すること。
- 表中に十分に記載できない場合には、別紙で提出すること。

令和4年〇月〇日

群馬県担い手育成総合支援協議会  
会長 高橋 英二 様

所在地 前橋市大手町一丁目1番1号  
取組実施者名 株式会社群馬肥料  
代表者氏名 代表取締役 群馬 太郎

肥料価格高騰対策事業に係る振込口座について

肥料価格高騰対策事業に係る振込口座を下記のとおり提出します。

記

補助金の振込口座

金融機関 (ゆうちょ銀行以外)												
金融機関コード (数字4桁)				金融機関名								
0	3	7	1	上州 農業協同組合 <b>銀行</b> 信用金庫 信用組合 労働金庫 信連 農林中金								
支店コード (数字3桁)				支店名								
0	0	1	前橋支店									
預金種別 (該当のものにレ印を付けてください)						口座番号 (7桁に満たない場合は、右づめで記入)						
<input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 当座 <input type="checkbox"/> 別段 <input type="checkbox"/> 通知						1	2	3	4	5	6	7
口座名義												
カナ	カ) グンマヒリョウ											
漢字	株式会社群馬肥料											
ゆうちょ銀行												
記号 (6桁目がある場合は※部分に記入)						番号 (右づめで記入)						
					※							
口座名義人												
カナ												
漢字												

## 化学肥料低減計画書

秋用肥料	春用肥料	年間
○		

注:該当欄に○

## 作付概要

作物名	作付面積(ha)
水稻	10.0
露地ナス	1.0
その他	0.0
計	11.0

氏名(法人・組織名) 赤城 一郎

住所 前橋市亀里町1310

電話番号 027-226-0000

- 実施する(してきた)取組メニューに「○」を付してください。
- 「令和4年度又は令和5年度の取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(「◎」で記入)を含むようにしてください。

取組メニュー	前年度までの取組	令和4年度又は令和5年度の取組
ア 土壌診断による施肥設計	○	○
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用	○	◎
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用		
ク 緑肥作物の利用		
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等)の利用		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア～スに係るものを除く。)		
ソ 地域特認技術の利用( )		

私は、添付した領収書(請求書)等記載の肥料(肥料費)について以下のとおり、確約します。



令和4年秋肥又は令和5年春肥として確実に購入し、自らの農業生産に使用します。

※チェック欄にチェックした上で署名してください。

氏名(自署) 赤城 一郎

(注) 当年の肥料費は、秋用肥料については令和4年6月～10月、春用肥料については令和4年11月～令和5年5月に発注したことを証明する書類(注文票等)と、参加農業者が肥料費を支払ったことを証明する書類(領収書等)または支払い義務が生じていることを示す書類(請求書等)を提出すること。  
なお、肥料の種類、数量、購入費が記載されているものに限る。